

鳳青良

OHTORI SEIRA

O

L

売

春

の??

昼

と

夜

の

顔





キミは——

いくらなんでも  
「藤森さん」じゃ  
なまなま  
生々しいか

「さゆり」ちゃん  
許してあげるよ

キ  
ュ

10年  
オフィスで  
見知った  
前川主任とは  
すべて異なる「男」が  
わたしを抱き締める

制服着てると  
わからなかったけど  
案外  
胸はあるんだな

あ…

このごろじゃ  
すぐセクハラって  
騒がれて  
うっかり触れない  
ものな

なんだか  
生々しい…





ブラウス  
邪魔だな...

「さゆり」の  
トレードマークの  
制服が剝がされる

そんなに  
見つめないで

やっぱり  
いい躰だ



そそられるよ



デリケートな  
乳首だ



ア  
ア  
ア

あ

ア  
ア  
ア

感じちゃっ  
っ

いや  
主任…

まるで  
女の情を  
絞り出すかの  
ように

両手で揉みあげて  
強く乳首を吸う

おお…ん

嬌声を  
上げずには  
いられない

ああ

「女」だから



やっぱり  
感じやすいんだ

だって

主任の揉み方  
すごく  
いやらしい

ああ

そうだよ

ああん

だって  
愛情が  
こもっている

キミのこと

好きなんだ





いつも  
残業を頼むのは  
キミばかりだったって  
気づいて  
なかったの？

それは…

でも  
それは  
わたしが  
お局様だから…

キミと  
2人きりになる  
チャンス  
を狙って  
たんだ

なのに  
キミは生真面目に  
机に向かうばかりで  
そそくさと  
帰っちゃう

そのうち  
何やら怪し気な  
男から  
電話が入って来る  
ようになったと  
思ったら

残業も  
してくれなく  
なった

もう  
キミを  
あきらめて  
女を買おうと  
思ったんだ

「さゆりちゃんを



前川主任……

好きだよ

ぼくは  
この偶然に  
感謝している

ん……

んん

唇を合わせ

胸を合わせ

湿った陰毛が  
腹部をくすぐり

2つの足の間に  
割り込んでくる

熱い  
はち切れそうな  
彼の想いそのままの——





キミは商売でも  
オレは  
本気だから

今夜は  
愛情込めて  
キミを抱くよ

「愛情」なんて  
遠い言葉だと  
思ってたらしい

主任…



もっと  
気持ちよく  
してあげる

すごいな

溢れてくる



あ

あぁっ

溢れている  
のではないわ

呼び水のように  
主任の愛情が  
わたしの蜜を  
湧き出させてる

ひっ

ああ  
舐の奥から  
絞り出される

あっ

ひっ

柔らかい肉壁を  
探って  
熱い舌が暴れる

一体  
自分の何処に  
こんなに蜜が  
溜まってるのだろう